

遠賀川河川事務所 70年の歩み



国土交通省 九州地方整備局
遠賀川河川事務所

安心と夢をつなげる川づくり70年

これからも遠賀川河川事務所は、遠賀川流域をより安全で魅力あるところにし、次の世代や遠賀川を住みかとする生物たちにより良い遠賀川を受け渡すため、流域の皆様や行政機関と協働して、自然災害の被害をハード・ソフトの組み合わせで最小限に止め、豊かな自然環境を回復させ、川づくりを通して遠賀川流域を発展させていきます。

事務所の沿革

- 1906年 (M39) 内務省大阪土木出張所遠賀川改修事務所を現在の飯塚市に設置
第一期改修工事に着手
- 1911年 (M44) 内務省下関土木出張所の所属となる
- 1919年 (T8) 第一期改修工事完了 1945年 (S20)まで福岡県が維持管理
- 1945年 (S20) 内務省下関土木出張所遠賀川修補事務所を飯塚市に設置
第二期改修工事に着手
- 1948年 (S23) 事務所を直方市へ移転し、建設省九州地方建設局遠賀川工事事務所に改名
- 1949年 (S24) 遠賀川改修総体計画を策定
- 1964年 (S39) 河川法改正(治水・利水の体系的な制度の整備)
- 1966年 (S41) 遠賀川水系を一級河川に指定
遠賀川水系工事実施基本計画を策定
- 1974年 (S49) 工事実施基本計画を改定(第一回)
- 1988年 (S63) 工事実施基本計画を改定(第二回)
- 1997年 (H9) 河川法改正(治水・利水・環境の総合的な制度の整備)
遠賀川水系河川環境管理基本計画を策定
- 2001年 (H13) 国土交通省九州地方建設局遠賀川工事事務所に改名
- 2002年 (H14) 国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所に改名
- 2004年 (H16) 遠賀川水系河川整備基本方針を策定
- 2007年 (H19) 遠賀川水系河川整備計画【大臣管理区間】を策定



●遠賀川河川事務所旧庁舎



●遠賀川河川事務所新庁舎

遠賀川70年のできごと

	西 暦	和 暦			
昭和20年～ 昭和30年代	1945	S20	遠賀川第二期改修工事に着手	 <p>●植木の堤防決壊</p>	
	1949	S24	遠賀川改修総体計画策定		
	1952	S27	臨時石炭鉱害復旧法制定		
	1953	S28	6月 大洪水 植木地区の堤防決壊 (遠賀川流域で戦後最大の被害。死者20人、家屋被害39,744戸)		
	1956	S31	碓川放水路完成		
	1957	S32	菰田水門完成		
	1958	S33	5-7月 渇水 (田川市が給水制限。自衛隊給水車出動)		
昭和40年代	1966	S41	遠賀川水系を一級河川に指定 遠賀川水系工事実施基本計画を策定	 <p>●河川鉱害復旧工事状況(微粉炭の浚渫)</p>	
	1967	S42	直轄河川鉱害復旧事業に着手 5-10月 渇水(飯塚市が給水制限)		
	1971	S46	河口堰建設事業に着手 菰田排水機場完成		
	1972	S47	7月 洪水(死者1人、家屋被害5,860戸)		
	1974	S49	工事実施基本計画を改定(第一回)		
昭和50年～ 昭和64年	1975	S50	水質汚濁防止連絡協議会設立 花ノ木堰改築 曲川排水機場完成	 <p>●岡森堰(彦山川)</p>	
	1976	S51	鯉田・藤野川排水機場完成		
	1978	S53	6-12月 渇水 (添田町・赤村・田川市・香春町・水巻町・北九州市にて給水制限)		
	1979	S54	6月 洪水(死者1人、家屋被害6,264戸)		
	1980	S55	河口堰本体完成 学頭・曲手・前川排水機場完成 8月 洪水(死者4人、家屋被害2,266戸)		
	1982	S57	山鹿排水機場完成 今井堰・川久保堰改築		
	1983	S58	岡森堰・高柳堰・岩下堰改築		
	1985	S60	笹尾川排水機場完成 6月 洪水(死者1人、家屋被害703戸)		
	1986	S61	川端排水機場完成		
	1988	S63	工事実施基本計画を改定(第二回)		
平成元年～ 平成9年	1989	H元	殿浦排水機場完成 糯堰改築	 <p>●遠賀川河口堰(遠賀川)</p>	
	1990	H2	一本木堰改築		
	1991	H3	建花寺川浄化施設完成		
	1993	H5	釜の口・伊田堰改築		
	1994	H6	7-12月 大渇水 (11市町で時間断水。河口堰貯水率44.9%と過去最低を記録) 庄司川排水機場完成		
	1995	H7	白門堰改築		
	1996	H8	直方川づくり交流会発足 居立川浄化施設完成		
	1997	H9	飯塚川づきあい交流会発足 島台堰・大新地堰改築 遠賀川水系河川環境管理基本計画策定		
					 <p>●H6.7-12月の渇水状況</p>

	西 暦	和 暦		
平成10年代	1998	H10	光代堰改築 田川ふるさと川づくり交流会発足	
	1999	H11	6月 洪水(家屋被害1,162戸) 丹波堰改築 清水・番田浄化施設完成	
	2000	H12	尺岳川浄化施設完成	
	2001	H13	宮若川づくり交流会発足 6月 洪水(直方・飯塚市を中心に家屋被害238戸) 金田水辺の楽校整備	
	2002	H14	清流ルネッサンス第二期に選定 「キラッキラ! やすらぎ、きよらか遠賀川」 明星寺川床上浸水対策特別緊急事業に着手(～H18)	
	2003	H15	7月 洪水(直方・飯塚市を中心に家屋被害3,751戸) 遠賀川飯塚地区防災ステーション完成	
	2004	H16	遠賀川水系河川整備基本方針策定 遠賀川水辺館完成 飯塚・穂波地区床上浸水対策特別緊急事業に着手(～H20) 笹尾川・嘉穂水辺の楽校整備 遠賀川河口堰貯水池浄化施設完成	
	2005	H17	直方地区床上浸水対策特別緊急事業に着手(～H21)	
	2006	H18	明星寺川排水機場完成 直方市中心市街地 河岸の緩傾斜整備完成 なかま川づきあい交流会発足	
	2007	H19	遠賀川水系河川整備計画【大臣管理区間】策定 黒川香月地区のホタル環境整備 遠賀川下流域河川環境教育研究会発足 熊添川浄化施設完成	
2008	H20	I LOVE 遠賀川流域リーダーサミット(第1回)開催		
平成20年代	2009	H21	「遠賀川 直方の水辺」 土木学会デザイン賞最優秀賞受賞 遠賀川「ゴミゼロ」の日:春の遠賀川一斉清掃開始 7月 洪水(5観測所にてピーク水位更新。家屋被害2,174戸) 中元寺川・赤池水辺の楽校整備 大任地区の水辺整備 7月 洪水(3観測所にてピーク水位更新。家屋被害386戸)	
	2010	H22	中間堰(新日鐵用水堰)改築事業に着手 田川市伊田地区 パラペット堤防の補修に着手 エコロジカルネットワーク 直方市下境地区完成	
	2011	H23	遠賀川河口域における不法係留船対策に着手 芦屋地区の水辺整備	<p>●不法係留船撤去状況(簡易代執行)</p> <p>●中元寺川水辺の楽校(中元寺川)</p> <p>●流域リーダーサミット「遠賀川流域宣言」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちは、水源の山々から海までつながり響きあう、生命の環を育てます。 2. 私たちは、ふるさとの川、遠賀川を誇りに思い、みんなで守ります。 3. 私たちは、深い感謝の心をもって、遠賀川に礼をつくします。
	2012	H24	I LOVE 遠賀川流域リーダーサミット(第3回)にて 「遠賀川流域宣言」を採択 7月 洪水(7観測所にてピーク水位更新。家屋被害978戸) 柳原・戸倉堰を統合改築	
	2013	H25	遠賀川河口堰多自然魚道完成 遠賀川魚道公園 グッドデザイン賞受賞	
	2014	H26	河川協力団体制度を開始 3団体を指定	

遠賀川流域の概要

流域の概要

遠賀川は、福岡県嘉麻市の馬見山を源とし、彦山川、犬鳴川などの支流を合わせながら福岡県北部の筑豊地方を北に流れて響灘に注ぐ、長さ61km、流域面積1,026km²の一級河川です。



主な施設

遠賀川河口堰

遠賀川河口から2kmにある遠賀川河口堰は、洪水への安全度の向上と塩害の防止、北九州市の都市用水確保を図るため、1980(昭和55)年に竣工した可動堰です。左岸側の河川敷には遠賀川魚道公園があり、多自然魚道での水生生物の自然観察や散歩等の場として親しまれています。



●旧固定堰：河口から約8.85km地点



●遠賀川河口堰：河口から2.0km地点

●河口堰左岸の多自然魚道

中間堰(新日鐵用水堰)

中間市役所にほど近い遠賀川に、1929(昭和4)年に設置された中間堰があります。中間堰で取水された水は、2015(平成27)年に世界文化遺産に登録された遠賀川水源地ポンプ室を通り、工業用水として利用されています。2010(平成22)年から、洪水への安全度の向上を図るための抜本的な改築工事を行っています。



●改築前の中間堰



●改築工事中の中間堰(平成27年2月現在)

直方の水辺

直方市中心市街地に面する遠賀川には、地域の方々が描かれた「遠賀川夢プラン」をもとに、水辺に近づきやすく安全に利活用いただけるよう整備された河川敷があり、チューリップフェアや花火大会、産業まつりには大勢の人で賑わいます。近くの彦山川には魚や昆虫類が川と田畑を行き来しやすくなるよう工夫した水路もあります。



●直方市中心市街地 河岸の緩傾斜整備(左:整備前、右:整備後)



●エコロジカルネットワーク 下境地区(左:整備前、右:整備後)

芳雄橋

飯塚市中心市街地で遠賀川と穂波川を跨ぐ芳雄橋は、飯塚市に大きな被害をもたらした2003(平成15)年7月の洪水を機に2009(平成21)年に架け替えられました。重厚感のあるデザインは地域の方々へのアンケートで採用されたものです。橋の中央デッキから河川敷にアクセスできる階段があることも特筆されます。

芳雄橋架け替えのほか、明星寺川排水機場の新設や遠賀川、穂波川の河道の掘削などにより、飯塚市の治水安全度は向上しました。



●架け替え前の旧芳雄橋

●架け替え後の新芳雄橋



●新設された明星寺川排水機場

田川市伊田地区パラペット堤防

風治八幡宮川渡り神幸祭の川渡り神事が行われる田川市伊田地区の彦山川には、両岸に洪水から市街地を守るためのパラペット堤防があります。2010(平成22)年から順次補修しているパラペット堤防は、地域の方々にご意見をもちに川渡り神事に調和した意匠となっています。



●田川市伊田地区 パラペット堤防(左:整備前、右:整備後)